琉球大学学術リポジトリ

昭和58年度事業計画について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017498

【昭和５８年度事業計画について】

設立後３年目を迎えた本研究会もいよいよ本格的な活動を開始すべき時期に入りました。そこで企画委員会，理事会において検討を行ない総会で承認されましたのが，次のような事業計画となりました。

A．継続事業

a）第３回総会の開催

b）ニュースレターの発行

c）特別講演会の開催

d）関連資料・文献の収集

e）国際交流活動の推進

f）研究部会活動の活発化

B．新規事業

g）研究会誌の発行および研究発表会の準備

これらの中でも注目されますのは研究会活動の中心ともいえる研究会誌の発行と研究発表会開催の準備であります。

研究会誌の発行につきましては編集委員長として琉球大学農学部四方治五郎教授が決定しており，会誌の体裁，.内容等について具体的な検討が進められております。この件につきましては後に記事を設けてあります。

研究発表会につきましては第4回総会時（昭和５９年７～８月ごろか？）に同時開催するように準備を進めることになりました。これまで総会通知が遅れ勝ちでしたのでこれを機会にできるだけ早く連絡し，多くの方々が参加できるようにしたいものです。

次にこれらの活動のバックボーンとなります研究部会活動の活発化が重要事項となっております。本研究会には6つの研究部会がありますが，これらの具体的な性格付け，活動の進め方等ははっきりしておりませんでした。

そこで企画委員会では先日（9月１７日締め切り）全会員を対象にアンケートを行ない，活動を行ないたい部会名と希望する活動内容を調べてみました。今後この結果に基づいて各部会の責任者（部会長？）の選任，活動内容の検討を行なっていくことになりました。

アンケートの結果を簡単にまとめてみますと次のようになります。

A．活動を希望する研究部会

（1）植物資源部会　　６５名

（2）動物資源部会　　２０名

（3）微生物資源部会　　２９名

（4）エネルギー部会　　４７名

（5）開発システム部会　　３９名

（6）トータルシステム部会　　３６名

B．希望する活動内容

（1）植物資源部会

a．植物資源の利用法の研究（既利用植物，未利用植物）

b．バイオマスとしての利用

c．品種保存，育種，栽培

d．バイオテクノロジー的な研究

e．産地化に関する研究

f．熱帯植物の導入

（2）動物資源部会

a．家畜の生産性向上

b．未利用動物の資源化，食品等への利用

c．南方海域水産資源の有効利用

（3）微生物資源部会

a．微生物利用の廃液処理と菌体利用

b．発酵食品の開発

c．熱帯性植物資源（サトウキビ等）の微生物による高度利用

d．植物生産物の微生物的応用

（4）エネルギー部会

a．熱帯性植物による代替エネルギーの開発および利用

b．自然エネルギー（太陽熱，風力，波力等）の利用

c．バイオマスエネルギーの利用

d．省エネルギー技術の開発

e．損失エネルギーの回収と利用

（5）開発システム部会

a．南方資源の開発状況の調査

b．新技術の工業化，実用化

c．地域開発，および，適合化

d．新技術開発に関する情報収集

（6）トータルシステム部会

a．南方資源のトータルな利用システムの開発

b．バイオマスランド構想の実現化と発展

c．新技術による農工複合体の研究

以上はアンケート調査に寄せられた活動希望の内容をおおまかにまとめたものです。この他にも多くの項目がありましたが紙面の都合で割愛させてもらいました。いずれも興味深い内容ですので，部会活動ができるだけ早く軌道にのり，すばらしい成果が上がることを期待します。

以上の他に国際交流活動の推進，或いは，関連資料・文献の収集等重要事業がありますがこれらについては後の記事を御覧ください。

（事務局）